

小学生の「戦争」

袋谷 一郎

(前号のつづき)

「勝つて来るぞと勇ましく、誓って国を出たからは、手柄立てずに死なれよか、進軍ラッパ聞かたに、まぶたに浮かぶ旗の波」。この歌は当時一番よく歌われました。そして忘れないこんな歌があります。「肩を並べて兄さんと、今日も学校へ行けるのは、兵隊さんのおかげです、お国のために、お国のために戦った、兵隊さんのおかげです」

平和の尊さを 引き継いでいくために 戦争体験を お寄せください

機関紙編集委員会では、戦争を知らない世代に平和を受け継いでいくためにも、戦争体験を募集しています。戦後72年目を迎え、戦争の経験者が少なくなっていく中で戦争体験が語られることも少なくなり、貴重なものとなっています。編集委員会に寄せられるお手紙にも戦争体験は多くの反響があります。

お寄せいただいた戦争体験を冊子にまとめて、形に残していくことも検討しています。ぜひ読者の皆さんの戦争体験をお寄せください。

お問い合わせ

友の会事務局 (TEL) 072-244-8061

寄稿 私の戦争体験 <10>

「とも」の昨年9月号に掲載した戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

私も一日も早く大きくなって、兵隊さんになろうと思っていた。泉北ニュータウンの自宅のすぐ近くに、旧美木多村の共同墓地があり、その中に、戦死した兵隊さんのお墓がたくさんあります。それぞれに、戦死した場所、日付、年齢が書かれており、ほとんどが20歳代です。1戸で3人も亡くなっているおうちがありました。ご両親はさぞ悲しまれたことでしょう。亡くなった息子さんも、心残りであったことでしょう。

今の時代の20歳代の男性と比べてどうでしょうか。一家の働き手が3人もいなくなっている、だれにも文句が言えないのです。国は靖国神社に祭って、神になったと言います。私は嘘だと思っています。

お楽しみクイズ クロスワードパズル

●応募方法／郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、
あて先／〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2
友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにご郵送ください。
●しめくり／2017年9月13日(水)消印有効
●当選発表／厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を、賞品の発送をもって発表に替えてさせていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

タテのキー

- ① のたたき、—— 節
② 秋のはじめ
③ ふるさと。—— へ帰る
④ 〇〇に入っている〇〇に

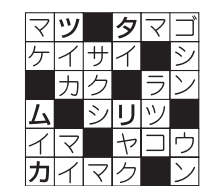
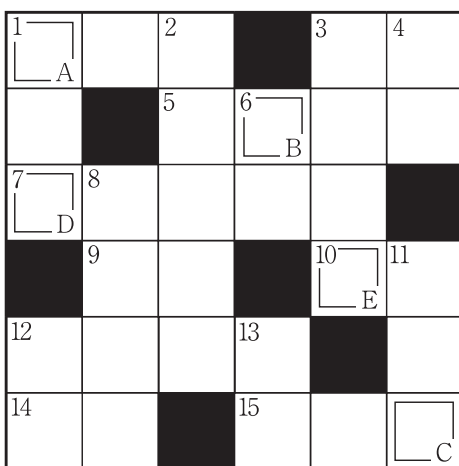
横のキー

- ⑥ 文明の発展に〇〇する
⑧ 鵜飼い
⑩ 病人を——する
⑫ グラフのx〇〇、y〇〇
⑬ 〇〇増、〇〇返し

EITのキー

- ① カメラ、—— 社会
③ 俳句などで季節を表す言葉
⑤ 宴会を盛り上げる演芸
⑦ 詰将棋ではこの駒を狙う
⑨ 〇〇色の鳥居
⑩ 〇〇に冠を正さず
⑫ ——の騎手
⑬ 〇〇白だらけの答案用紙
⑮ 映画「——白書」

カギを解き、二重ワクに入る
文字をABC順に並べてできる
言葉は何?



●6月号の答
「カタツムリ(蝸牛)」
●応募数/91通

川柳

1円を拾ったために腰痛め
九条に自衛隊を入れたくて (安倍首相)

俳句

小田舎の片隅に芽吹き釣り忍

短歌

杖ついていつもの道を散歩する
ミーちゃん猫に会えるといいな
君逝きて光陰待たず早五年
耳に残りし在りし日の声
如月の湖北の波は高くして
鳩は入江に集い漂う

林 研
安東 利彦
福山 怜子
山本 直美
宮崎金次郎
嶋田 寛子

*句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
*俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2017年9月13日(水)です。
*特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

会員さん 紹介 ②7

泉ヶ丘西支部
さかもと 建さん
たけし 坂元さん



戦後すぐの子ども頃はガキ大将でした。学校では遊んで、家では実家の農業の手伝いをしました。当時は食べ物も少なく、苦労しました。中学校の卒業後は、集団就職がほとんどで、大阪市生野区の小さな会社に就職しました。その後、いくつかの会社でモノづくりの仕事を経験。

車の運転免許を取るのが趣味で、大型特殊自動車や牽引車の免許も持っています。空を飛ぶ免許がないです。

友の会に入ってから良かったです。ウォーキングなどに参加したりしています。入ってなかったら、一人で釣りぐらいしかやることなかったと思います。人間関係も豊かになり、生きがいになっています。

(写真・文 機関紙編集部)

編集後記

先日、担当する東西支部で、歯の学習会を開催しました。プロジェクトに映る写真や模型を見ながら、西野先生の話をお聞きしました。現代人の歯周病とむし歯の多さ、治療の大切さを学びました。歯の大切さは、貧困や健康寿命とも関わっていると聞かれています。

むし歯が見つかったも「お金がないから受診しない」その結果歯を失い、全身疾患にもかかりやすくなる。ここでも貧困の格差が、健康の格差につながっています。

まず自分の歯をきちんと守るために、歯科検診を受けようと思います。その上で、だれもが安心して治療を受けられる制度を求めていきたいですね。

(事務局 藤原)